

# 弱い思考

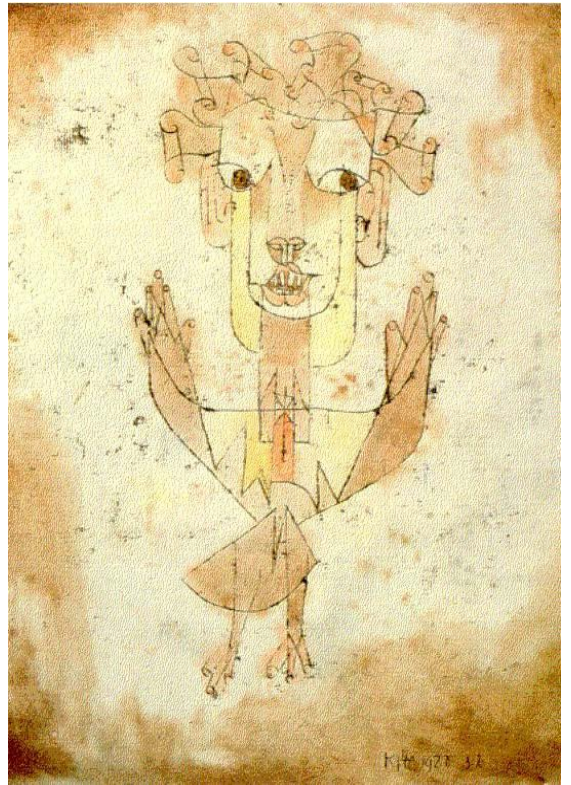
## Il pensiero debole

G. ヴァッティモ & P.A. ロヴァッティ 編著

上村忠男・山田忠彰・金山 準・土肥秀行 訳

四六判上製 380 頁 定価 4,200 円(税込)

イタリアの哲学者ヴァッティモは、西洋形而上学は絶対的価値、真理、普遍といった「強い思考」であり、暴力性がそなわっているとし、それとの決別を宣言した。ドゥルーズやフーコーといったポスト構造主義はあまりに形而上学のノスタルジーにとらわれている、と一定の距離を置く。本書には、ヴァッティモとロヴァッティの呼びかけにこたえて、エーコやカルキアなど著名な美学者・思想家 11 名が名を連ねた。イタリアで出版されると同時に、世界の思想界に影響を与えた哲学アンソロジー、ついに刊行。



G. ヴァッティモ  
(Gianni Vattimo, 1936-)

イタリアの哲学者・政治家。主な著作は *Il soggetto e la maschera* (1974), *Le avventure della differenza* (1980), *La fine della modernità* (1985), *La società trasparente* (1989), *Vocazione e responsabilità del filosofo*, a cura di F. D'Agostini (2000): 『哲学者の使命と責任』(小局刊), *Hermeneutic Communism*, con Santiago Zabala (2011) など

P.A. ロヴァッティ  
(Pier Aldo Rovatti, 1942-)

イタリアの批評家。『アウト・アウト』誌編集長。主な著作は *Critica e scientificità in Marx* (1973), *Elogio del pudore*, con Alessandro Dal Lago (1991), *Guardare ascoltando* (2003) など

弁証法、差異、弱い思考—G. ヴァッティモ  
経験の過程でのさまざまな変容—P.A. ロヴァッティ  
反ポルフェリオス—U. エーコ  
現象を称えて—G. カルキア  
弱さの倫理—A.D. ラーゴ  
「懐疑派」の衰朽—M. フェッラーリス  
ハイデガーにおける *lucus a (non) lucendo* としての開かれ=空き地  
—L. アモロージ  
ウィトゲンシュタインと空回りする車輪—D. マルコーニ  
雪国に「城」が静かにあらわれるとき—G. コモッリ  
カフカのアイデンティティなき人間—F. コスタ  
社会の基盤および計画の欠如—F. クレスピ

もくじ

切り取って最寄りの書店にお渡しください

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-7 法政大学出版局 TEL 03-5214-5540/FAX 03-5214-5542

注 弱い思考 (ユニベルシタス 977) ( 冊) 書店名・番線  
ISBN978-4-588-00977-8 C3310 定価 4200 円(本体 4000 円+税)  
文 \_\_\_\_\_  
書 お名前: TEL:  
ご住所: